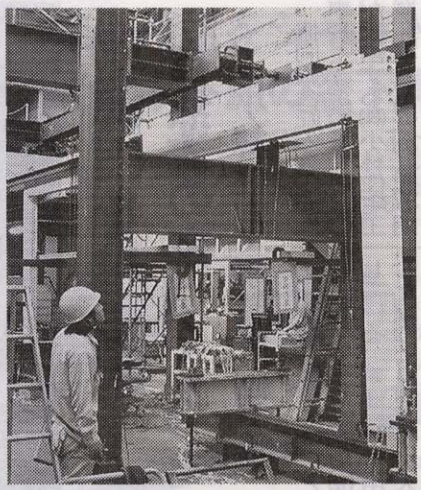
カスタムハウジング

壁倍率換算23・26倍

門型フレームをバージョンアップ

カスタムハウジング㈱（橋本晃芳社長、大阪市、06－6309－1131）は、（財）日本建築総合試験所（国土交通省の指定評価機関）で昨年9月実施した木造門型フレームの実大実験結果をこのほど発表したが、それによると、高耐力仕様の門型フレームは8mスパンで水平耐力最大45・6kN、壁倍率換算で23・26倍という高い数値を達成、狭小地でも大開口、大空間を実現できることが証明された。



試験体は、柱が120×300㎜、梁が120×450㎜。従来の門型フレームと比べて、柱・梁の接合部の強度を向上させ、せん断プレートの位置を調整し、柱脚のボルトを強力ボルトへ変更し、ドリフトピンの本数も増し、より強靭な高耐力フレームとした。現場施工も1フレームあたり約20分で組み立てができる。

また、同時に実験したリフォーム仕様の門型フレームは、柱105×180、梁105×330㎜、水平耐力は最大で17・41kN、壁倍率換算で8・81倍。既存建物のリフォーム時の耐震補強に適したサイズであり、限られた場所での組み立てに対応できるよう、柱を既存の柱に固定した後、梁を下部からスライドさせるように持ち上げて連結する仕組みなので、簡単に施工できる。

同社設計技術部の植岡部長は「両仕様のフレームは現在、全国で普及している当社の門型フレームの耐力を向上させたバージョンアップ版であり、実質的に建物内の耐力壁の数を減らすことが可能で、より自由な設計ができる。また、リフォーム仕様の門型フレームは柱梁の部材寸法を大幅に減少しつつ水平耐力を確保し、施工性を重視した接合金物を新たに開発した。現場でのフレーム組立て時間はわずか5分であり、従来と比べ大幅に短縮でき、今後需要が拡大する耐震補強に簡単に対応できる」と。

なお、フレームのプレカットは20カ所以上に及ぶネット体制で全国に供給できる。

昨年の住宅着工は128万戸台が確実なものとなった。では、今年はどうだろうか。

昨年11月中旬に各金融機関・シンクタンクが出した予測（住宅金融公庫調べ）では、最も18年度の予測）で、14機関の平均は127万6千戸。おそらく、この平均戸数ぐらいになるのではないか。昨年を上回ることは考えにくい。

何故なら、わが国の地方税の減税もなくなり、さらに個人住民税は大幅増税となる。加えて、厚生年金保険料も国民年金保険料も上がる。上げ幅はわずかだが、2017年まで毎年上がり続ける。

協会耐大木全国

今年のテーマは「大変化」

使命感、技術力、倫理観を強調

木耐協（日本木造住宅耐震補強事業者協同組合）は12日、東京で第9回全国大会を開催し、2007年度の事業方針を明らかにした。

開会冒頭、挨拶に立った小野秀男理事長は「今年のテーマは変化、それも大変化。今年、木耐協は大きく変わります。一般消費者に向けては今までどおり木造住宅の構造面を担保できる技術者の集団であることを続けていきますが、そのために研修、勉強会をもっともっとやっていきます。業界に向けては1千社の団体としてあるべき姿を追求し、模索し、発表し、リードしていきます。そして組合内部に向けては組合員の利益につながるような色々なアクションを起こしていきます」と事業方針を述べ、「この仕事をするために最も必要なものは使命感、最も必要な素養は倫理観くてはならない倫理観―この忘れないよう、地震及び地によって殺人でも少なくに、ご協力い。皆さんに出会うすべ性の向上を図きたい」と強

組合員向けスとしては、強部材「ひし」のリリーいるサポート商材の耐協総合補顧客との出「優良リフ介サービスいく。

住宅業者が教えてくれない

「住宅計画」セミナー

創意工夫でオーダーメイドのリフォームを手掛けるパステルホーム㈱、メビウス、古川和幸社画や住宅の選択を実行できるよう各地で講演活動を行っている。

大田氏は日本の住宅寿が期待できないだけに、資産価値のある長寿命住宅を建てなければならないと強調した。

「長寿命住宅を建築するなら木造住宅。木造住宅には100年以上経ても住まいとして機能していく条件が重要。「30年前に宅が朽ちてがなくなっ都の町家の年以上たっ経過で風合値あるもの